



財務モデリング講座
ケース「エスプレッソマシン」
第7回

名前の定義の活用 (復習)

- 財務モデル構築において名前の定義の活用は非常にメリットが大きい
- シート間・モジュール間だけでなく、フラグの構築において **Template Model** 内で定義された名前の定義が利用できる
- = の後にテキストを入力することで、対象のセルを探すことなくリンクを参照でき、Tab キーで一括入力ができる

第7回目講義のトピック

- レビューの基礎 - セルフレビュー編

セルフレビューとは

- 「レビュー」とはモデルの評価・分析作業のこと
- セルフレビューはモデル構築者が自分で行う分析作業
- モデル構築者ではない他者が行う場合は
Independent Review や Peer Review などと呼称
- 本当の意味でのレビューは、必ずモデル構築者以外の
第三者が行わないとあまり効果がない

レビューで分析・確認する事項

- 計算誤り、参照誤り、表記誤りの特定
(Potential Error)
- **明示的でないモデル前提条件の特定
(Hidden Assumptions)**
- 明示的でない計算・入力の特定
(Question)
- 誤解を与えるフォーマットや記載
(Design Issue)

レビュー箇所の順番

1. **アウトプット**
2. インプット
3. 計算
4. (フォーマット)

アウトプットのレビュー

実演

アウトプットの主なレビュー項目

- **金額の妥当性**
- それぞれの項目の発生時期と±符号
- Calculation シートから正しい参照が行われているか

インプットのレビュー

実演

インプットの主なレビュー項目

- **入力値の妥当性**
- ラベルの表記、表記単位に誤りがないか
- 計算シートで参照されていない入力項目がないか

計算のレビュー

実演

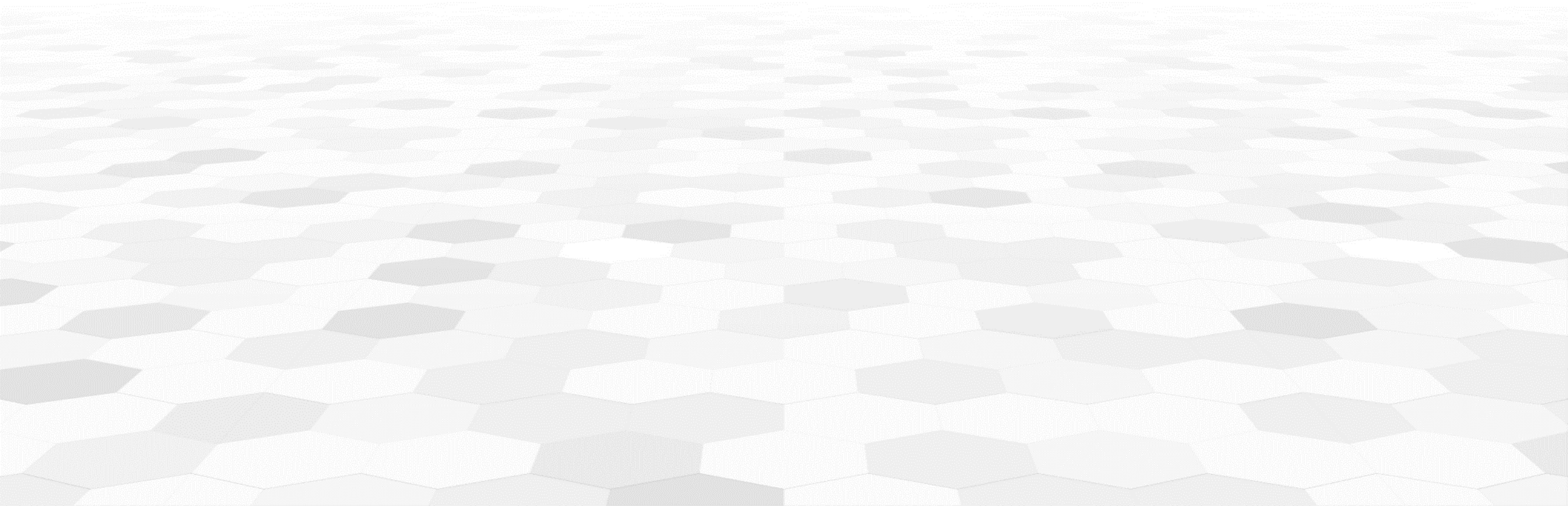
計算の主なレビュー項目

- **数式が列の途中で変更されていないか**
- 複雑な数式がないか
- 暗黙の前提や思い込みによる計算がないか

講義まとめ

- 構築した財務モデルを分析・評価するためのレビューという作業が非常に重要となる
- **必ずアウトプット、インプット、計算の順で実施する**
些細な点ではなく金額の重要性や重要な論点に意識を巡らせる
- 名前の定義やフォーマットのルール、
ソフトウェアの機能を活用しながら効率的に分析が可能

質疑応答 - Q&A





財務モデリング講座
ケース「エスプレッソマシン」
第7回

終了